

3年生0学期

3年生0学期が始まって1カ月がたちました。

先日の総合の時間に「進路学活」で、公立高校の合否の決め方をお話しました。授業中を大切にすることがどれだけ大事なことが、よくわかったのではないのでしょうか。

- ・仕事では、やる前に「できない」って言うのは通用しません。
- ・生活習慣をしっかり身につけておいたほうが良いと思います。
- ・今、仕事に必要な資格をとるための勉強をしています。誰も、ていねいに教えてはくれません。
- ・「勉強の仕方」もしっかりと勉強しておけばよかったと思います。
- ・仕事はたいへんだけど、充実してます。「がんばってるね」「ありがとう」のことばが励みになっています。

卒業生のことばです。

授業の中でコツコツとやるべきことをやる力、わからなくてもあきらめずに問題を解くことに挑戦する力、今やりたいことがあっても（近くの子とおしゃべりする、ノートに絵を描く、授業に関係のないことをする・・・など）、それをガマンして授業に集中する力、が将来仕事をしていく上でとても大事な力となっていくのです。授業をまじめに受けるのは、高校に合格するためだけではなく、あなた方の生きる力となるのです。

「3年になったらがんばる！」

よく聞くことばです。今からです。3年生0学期をがんばることができたら3年生の1学期は順調にスタートできるはずですよ。「1月は行く・2月は逃げる・3月は去る」と言われます。あっという間に3学期は終わりますよ。

節分

「節分」とは「季節を分ける」という意味です。季節とは「立春」「立夏」「立秋」「立冬」からはじまる季節のことを言います。節分はその前日にあたるのです。昔は「立春」から新年がはじまったので、その前日の2月3日の節分が重要な日となり、今に至っています。豆まきは、悪いことをおこす「邪気」を払うために行われています。季節の変わり目には鬼が出ると言われていました。昔から米や豆には、邪気を払う力があると言われていました。節分に豆をまいて鬼を追い払うのは室町時代から続いています。

「魔（鬼）の目」→「魔目」→「まめ」

豆を炒ることで、鬼をやっつける意味があると考えられています。豆まきのときには、必ず炒った豆を使うのです。

今、まだ頑張りきれしていない弱い気持ちや、つつい怠けてしまう気持ちを追い払い、立春から新しいスタートを始めるのもいいかもしれませんね。